

五分館だより

第66号

豊丘村公民館
第五分館
編集／社会部
印刷
燦プランニング
飯田市上郷飯沼

堀越の今日

平成20年12月現在
戸数 86戸
人口 351人
(男164 女187)

まつたけ観光 二十六日間の営業

平成二十年度のまつたけ観光が、十月三日より二十六日間行われました。豊作であった昨年に比べ松茸の量もそこそこであり、多くのお客様に堪能して頂きました。

二十年度のまつたけ観光も区民総参加の中で、十月三日から二十八日迄、二十六日間の営業を終える事が出来ました。今年は、八月に雹害があり大きな被害を受け、暗い雰囲気の中で営業を迎えた訳であります。

この事業は、村をはじめ大変多くの関係皆様の協力で成り立っており改めて御礼申し上げます。心配しておりました茸の出荷については、九月の末から比較的順調な出荷があり二十六日間の営業をする事が出来ました。期間内の来客数は中京方面を中心に二千四百名を超え、何回も来ている常連のお客様が多く、茸の出具合に関心をもっておりました。又、料理のコースも五十%が特コースで、原油高や不景気と言われる中でも高級化、本物志向が進んでいると感じております。

観光事業は区の大きな収入源でありますので、区民の協力を頂き今後も継続したいと考えておりますが、



最後にになりましたが、今年初めて観光委員長を務めさせて頂きましたが、皆様の理解とご協力で終える事が出来、心から感謝と御礼を申し上げます。
観光委員長 武田 勝

村政懇談会 開催される

河野 通久

十月三十日にまつたけ観光の終了したばかりの区民会館大広間にて村政懇談会が行われました。

村から村長、教育長をはじめ全役場の課長さんが来られました。

堀越水仙街道

寿生会会長 米山 尚武

日頃は老人クラブ(寿生会)活動にご支援ご協力賜わり有難うございます。

現在会員は加入年齢が満六十才以上とし一〇〇余名の方々に構成され事業の運用を図っております。

老人クラブは地域を基盤とする高齢者の自主的な組織であり活動は高齢者のリズムと体力に合わせて無理をせず継続性が大切だと思

います。又相互の連携を密にして親睦を図り教養を高め健康保持と生涯対策に努

めボランティア活動に資す

と共に地域なりの特色を生かした取組が肝要ではないでしょうか。

では寿生会活動を簡単に記事したいと思います。

村長の挨拶では、他地区に比べて大勢参加していた

だき堀越地区の皆さんの関心の高さと熱心さを感じて

いる。又、八月二十九日の雹害にお見舞い申し上げる

と共に立ち直りに出来るだけの支援をしたいとありま

した。

世帯数、人口の変化では世帯数では二戸減の八十八

戸、人口では二十二人減の三六四人になっていると報告がありました。

平成十九年度、一般会計決算額の報告、主な事業と決算額、二十年度主な事業に続き二十一年度、二十四年度の主な大型事業の計画



の報告があり最後に雹被害の状況、被害支援の概要について話がありました。

質疑では、黒谷線工事時期が十月から十二月と遅くまつたけ観光や農作業等

に不便であり、来年度以降の工事発注を早く出して頂き、区民に迷惑の掛からない様にしたいなどの意見がありました。

その他に火葬場の誘致に努力してもらいたいなどの意見が出されました。

その他多数意見も出されて大変良い村政懇談会でした。



花が咲いて、道行く人々の眼を惹きつけて下さるでしょう。やがては堀越の水仙街道として知られ多くの写真家が訪れカメラに収めて下さる事を夢見て居ります。道幅も良し、景観も良し、

黒谷箋

アメリカの「サムプライムローン」の破綻により欧米の経済が失速し今年は大手証券会社の「リーマンブラザーズ」が破綻し、その影響で円高が進行し、輸出を中心とする日本経済は現在打撃を受けています。

その反面原油や原材料等は値下げと言うメリットも出ています。

その中でトヨタやソニーなど超一流企業の減収減益による派遣者の解雇、新卒者の内定取消といった雇用面での深刻な問題が発生しています。しかし悪いことばかり考えても仕方ありません。

最近読んだ本の中である著名な学者の一節を目にしました。「二十世紀はエネ

ルギーや物質の大量消費の時代であった。速くて便利である。速さや便利さはそこそこの省エネ・エコを中心とした安全・安心やサビの提供に力を入れる」と。堀越は先輩方の尽力でまつたけ観光が三十六年を経過し「継続は力なり」の如く知名度がアップしました。

自然の猛威「雹害」

去る八月二十九日、午後三時頃山田、堀越の中間地域に降雹があり甚大な被害があり、収穫時期を迎えた農家に大きな打撃を与えました。

雹害復興

元気を出して

田島 豊

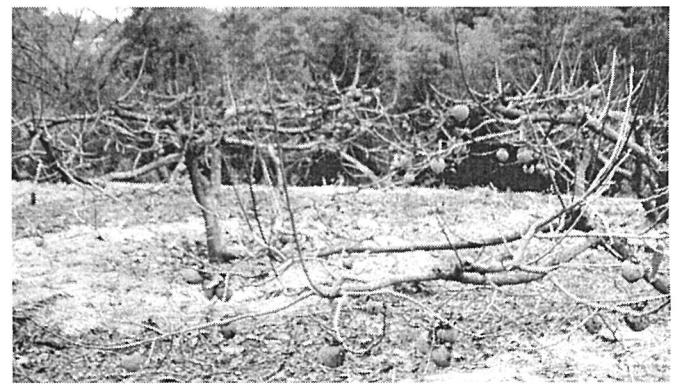
去る八月二十九日、豊丘村に降雹あり。黒雲が乗れこめ、稲妻も光ったが夕立ちくらいに思っていた。矢先「カツン」「ビシ」と変な音。お盆帰省の際、松川IC付近でフロントに当たった雹を思い出して外に飛び出したら案の定。そして粒の大きい事！製氷皿で作る氷くらいはあり、庭の木の葉が破れて飛び散った。空が明るくなつてからようやく畑を見に行きました。りんごのあり様はあまりにひどく、ほぼ全滅のようです。何ヶ所もえぐられボロボロになった果実。傷ついた枝葉、落下した物も多数枝ぶりや畑の位置、風向で多少の差はあっても無傷のものなどないようです。風も強かったため、枝が折れたり木が倒れたりといった被害もあちらこちらで出ました。翌日から傷りんごを落として破棄するという農業に携わる者にとっては何とも切ない作業に追われました。少しでも残したいしかし小さな傷からも腐りが出てしまう……。降雹は時間にして十分足らずでしたが、その十分に



来年は災害のない年でありますように

武田 篤子

異常気象が各地で伝えられる中、八月二十九日午後三時すぎ、ここ豊丘村の中間地でも災害に見舞われました。私は、山田のりんご畑でこのものすごい雹に出会いました。私が避難していた車は、



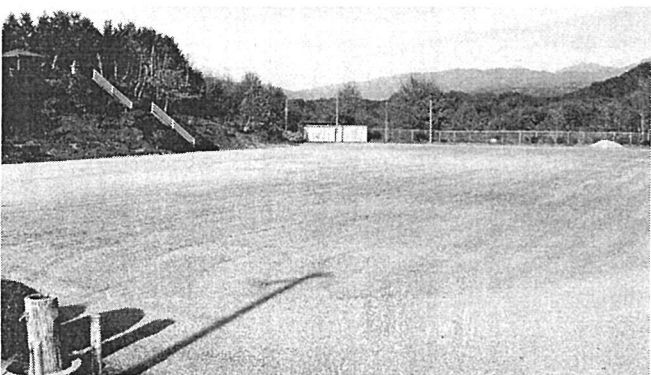
洗濯機の中に放り込まれたおもちゃのごとく、風と雹とにゆられ、十分後、車のドアを開けた時の景色は、十分前とはまるで別世界でした。実をえぐられて落とされたりんごと雹とが果樹園に散乱し、見上げたりんごの木は、葉はボロボロ、りんごは傷だらけの状態でした。我が目を疑っていました。「これが現実の事？」「もしかしたら夢をみているのかな」と自問自答しましたが……悲しきかなまさに現実の事でした。自然が招いた事だから、誰にも文句を言う事も出来ません。汗水流して一生懸命やって来た事が、わずかに十分で無駄なつてしまった事に、改めて農業をやつていく事のリスクの大きさを思い知らされました。そして、今年は「収穫の秋」という言葉が実にむなく感じられました。収穫の喜びとは立派な物が取れて、そ

れに見合う実入りがあつてこそものなんですね。災害は忘れた頃にやってくる。いう諺どおり今回の雹害は三六災につぐ、災害と言つても過言ではないと思います。改めて『何もない平凡な年が幸せ』というのを、何かあつてみて、しみじみと感じました。来年は災害のない年であるように願いたいものです。

区民の手でグラランド整備

社会委員長 越野 渡

天神グラランド整備につきましては毎年区民の皆様方には早朝より大勢参加頂き誠に有難く感謝申し上げます。次第でございます。グラランドが出来た当時は毎年整備を行つてまいりましたが、途中から隔年で運動会の行われる年のみ整備を行つてまいりましたが、隔年ではグラランドが荒れてしまふ運動会を開催出来る様にする迄に大変苦労するもので何とか毎年整備するようになつていただけないかとの申し出が第五分館の方からあり検討した結果毎年行なう事は区民総参加と云う事で隔年の運動会だけでなく一年に一度皆様方と逢える機会が出来てコミュニケーションの上でも大変良い事だと云う結論に達し五年程前から毎年実施する様になりました。現在に至っている所でありまして、年に一度の整備で済むの



お知らせ

2月中旬に
公民館学習会があります。
詳細は後日連絡いたします。



区民の皆様これからも毎年グラランド整備を行ないたいと思います。早朝より大変とは思いますが、区民皆様方の御理解と御協力の程よろしくお願いいたします。